

質問回答

2018年10月22日

「インドネシア国「農業保険実施能力向上プロジェクト」における気象観測データ評価能力強化」

(公示日:2018年10月10日/公示番号:180339)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	業務指示書 別紙 P10 1.プロジェクトの背景	提供される気象観測・リスクデータの「リスクデータ」とは、洪水、干ばつ、等自然災害の発生確率または回数という理解でよろしいでしょうか。具体的な内容をご提示下さい。	農業に影響の出る自然災害(洪水、干ばつ等)の発生確率や頻度を想定して記載しました。他に「リスクデータ」として考慮すべき事項があれば、プロポーザルでご提示ください。
2	業務指示書 別紙 P14 6.業務の内容 (1)第1次国内準備期間(2018年12月1週目) 項	第1次現地業務期間の現地踏査で訪問すべき州・観測所の数は、第1次国内準備期間で確定されるため、現地踏査に係るインドネシア国内移動費は見積段階では不明です。積算しなくてもよろしいでしょうか。積算が必要な場合は、必要な情報をご提示下さい。	プロジェクトの対象地はジャカルタ特別州の他、東ジャワ州、南スラウェシ州です。現時点においてそれぞれ各2回の現地調査をすることを見込み、積算に含めてください。
3	業務指示書 別紙 P19 7.その他の留意事項 (2) 翻訳の備上	国内作業においては翻訳(日本語又は英語インドネシア語)の備上が認められていますが、現地踏査時の通訳(日本語又は英語インドネシア語)も備上可能でしょうか。	現地では必要に応じてプロジェクトのナショナルスタッフが通訳可能ですので、備上は特に必要ありません。

以上